



八天堂便り 2021 7月号

Vol.136

八天堂便り制作実行委員会
石井・金岡・沖村・辻村・
井場・今井・浦島
編集長：宮川(沙)
2021年7月1日発行



皆さんへ



● 暑い夏が本格的に始まりました。

そしてまだまだコロナ感染も収束をみせていませんが、ワクチンが行き届けば必ず落ち着いてくると思います。それまで何とか力を合わせて乗り切っていきましょう。

【三日坊主も続いたら本物になる】.....

● 個人的な事ではあるが昨年腰を痛めた。身体中の潤滑油がぎれた感じで身体がガチガチになっていた。これはマズイ、この30年身体を酷使しメンテナンスして無いツゲが回ってきた。何より身体が思う様に動かないのはマインド面にも左右するのだ。今までも思い付きの様に始めた運動も三日坊主のまま何度も終えてきた。『三日坊主も続けてやれば本物になる』何時も皆んなに投げ掛けている言葉を今度は自身に向けて投げ掛けた。ここでやらなければ!と一念発起した瞬間だ。

● あれから365日、日々欠かすことなく走り続けてきた。ただし聞こえはいいがスローランニングである。有難い事に現在は習慣にもなり、逆に走らないと気分が優れない。コロナ禍で夜の付き合ひもほとんど無いのも幸いした。ゴルフもやらなければ夜の付き合ひも無い。よく何が趣味ですかと聞かれるが、当たり前のように「仕事が趣味」だと答えている。たまに「面白くない人間だな」と嫌味を言われる事もあるが…。当の本人は全く気にしていない。『理想によって生きるのが趣味ある人の行動と言う。本来趣味ある人と言うのは多趣味な人を指すのではなく人生を味わう人という意味 渋沢栄一』。仕事は表向き楽しさなどよりも、日々問題課題の方が多く。そして泥臭い事の連続である。しかしその過程こそ人物を成長させてくれると感じる。『脳科学者…松本元先生曰く、失敗や挫折を通して独創的な新しい考えや創造的な物が作り出される。安易に達せられない目標としての夢を想定し、自ら設定した目標として取り組んでいる時、脳は活性化し幸福感を感じられる事に仕組まれていく』この様に大きな課題を乗り越えた時はもちろんの事、日々の小さな事を乗り越えながらも進んでいく営みに喜び(達成感)を感じるのだ。ただし松本先生の研究結果にある様に「自ら設定した目標に向けて取り組んでいる時…」この「自ら」の主体性がとても重要なのである。しかし本格的な趣味は無いにせよ細やかな楽しみはある。ギターと読書に風呂だね(水風呂は朝のみ)。スローランニングと同様、リラックスできアイデアが溢れる大切な時間でもある。貴方に趣味はありますか!?特に身体を動かす事は大切だと感じる事が多くなった。道元禅師の身心一如の字の如く、身が先に来ている通り、身が健康で無ければ心もついていけない。八天堂は、健康経営プライド500を地域に先駆けて取得した。必ず職場環境をよく良く整え一人一人が働き易くアイデアが溢れる職場へと変えていく。(職場を良くする委員会がまさに社員自ら主体的に立ち上がってくれた事に心より感謝すると共に全面的に応援していく)

【本業から離れるな本業を続けるなパート1】.....

- パート1では創業者の祖父の歴史
- パート2では会長である父の歴史に触れてみる。
- パート3は私の34年間の歴史の中で、いかに変化しながら進めてきたかを綴っていく。
- 私が代表取締役任に就任したのは34歳なので、今から23年前になる。同時期に会社名を有限会社森光八天堂から森光の名を取って『八天堂』とした。『八天堂』は世羅町と三原市の境にあるお堂で、現在も地元の人々が大切に守って頂いている。ハは未広がりであり天に向かって

伸びていく意味もあると、祖父が口にしてきていた事を思い出す。本当に素晴らしい会社名をつけてくれたと心から感謝している。

● 最近は父とよく昔話をする事が増えた。八天堂の歩みをできる限り聞いて残しておきたいからだ。私の知らない祖父と父の時代に、二度経営状態が厳しい局面があった様だ。一度目は創業和菓子店時代に遡る。創業者である祖父は、三原市菓子組合初代理事長、会議所の議員など人のお世話をするのが好きだった。何事も先どりしていた様で、ラジオ、テレビ、カブ、車などもその一つだった。祖父は世羅町で次男として生まれ(八天堂御堂の裏手に位置する。ちなみに辺りは小学校のグラウンドであった)その後三次吉舎に和菓子の修行に行き、三原にて創業する。昭和8年創業であり、家近くに幼い頃から親しんでいた地域の守り神でもあるお堂の名が八天堂。ハがつく事からは非この名前を会社名としたいと地元の方の許可と応援を貰い、いい名をつけてくれた。現在の港町創業店を開店する一年前には、準備期間として現在の鈴木内科の横あたりに出していた様だ。余談だが鈴木先生とはご縁があり、医院の前は鈴木ベーカーリーだった。そこへ八天堂として蒸し饅頭を卸していた。特に学校などの祝い事に使われる紅白饅頭を卸していたのを思い出す。私も子供ながら手伝っていたのが懐かしい。時たま自転車の荷台に積んで鈴木ベーカーリーまで配達もしていた。※創業店がある「帯人通り」の名の由来は三原駅から帯人へのメインストリートなのでその名がついた。皆さんには想像もつかないだろうが昔は夜の9時まで店を開けていた程、人通りが多かったのである。ちなみに帯人通りの下には未だに川が流れている。つまり暗渠(あんきょ)になっているのだ。私も幼い時一度だけ工事中に川が流れているのを目にした事があった。祖父とは港町店の奥にあたる三畳一間で一緒に時間を多く過ごした。幼い私は寝ている祖父に跨り意地悪な事を度々していたが、祖父からはほとんど怒られた事がなかった。とても温厚な祖父の思い出せない。その代わりに祖母からは優しくも厳しくよく叱られた事を思い出す。またその当時は港町店裏の駐車場に吉川食堂があり、吉川のお爺さんと良く将棋を指していた事が脳裏に焼き付いている(意味も分らず観ているのが楽しかった)口数の少ない祖父だったが「昔はなあ甘いものが高価で贅沢品だったんだぞ。それでみんなの心も元気になった」そのフレーズが今も私のDNAとして強く心に残っている。今で言うならば「食で人の心を元気に」だ。その温厚な祖父も新しいもの好きと、思い立ったら直ぐに行動に移すタイプだった様で、駅前が賑やかになってくると聞いたら駅前の土地を購入し工場とした(私も10歳まで三原市城町で過ごす)時が経ち市内に和菓子店も多くなり、売り上げも減少を迎える事になる(当時売っていたお品 ●お茶の味 ●長崎カステラ ●等大福 ●シュークリーム)ちなみにシュークリームが日本に登場したのが昭和30年代である。※復活バージョンとして、等大福とシュークリームのブラッシュアップ商品を出していく予定だ。

● 売り上げ減少の一途を迎える中、跡を継いだ父親が洋菓子を取り入れ業態変換し何とか切り抜けていく訳だが、ここからは次回へ。

株式会社八天堂
代表取締役社長 森光孝雅





今月の格言

「努力、小資本をもって大成すべし」

成長や拡大を急ぎ、安易な借金や共同事業に走るのは破綻のもと。他人の力を当てにせず、自主独立の精神で実力を養いたい。小資本、無借金、ジャッキで一段ずつ引き上げる様な経営を。



夏の贈り物に!! 【新商品】とろけるくりーむ大福は いかがでしょうか?

販売開始から大人気の「スプーンで食べる」とろけるくりーむ大福。求肥は富山県産の最高級ブランド米「新大正もち米」を使用し、二段階仕込み製法を用いたことで究極のやわらかさを実現しました。お米が香るこだわりの求肥と八天堂特製くりーむを包み込んだ逸品です。

<https://hattendo.jp/product/creamdaifuku/>



新商品のご案内

ムーミンコラボ メロン・メロンなくりーむパン

売価 320円(税込)

期間 2021年 7/15(木)～

展開 全国の八天堂店舗、一部販売店

さっくりふわっとしたメロンパンの中にクラウンメロンを使用したくちどけの良いくりーむを入れた一品。ムーミンコラボ初のメロンパンでの展開で、クラウンメロンの風味が口いっぱいに広がる一品です。



どら焼き

期間 2021年 8/1(日)～

展開 全国の小売店

昭和8年に和菓子屋として創業した八天堂。当時から製造・販売していたどら焼きを今の八天堂の思いを最大限込めて開発した逸品。ふわっとしっとりした生地が特徴で、つぶあんも甘さを控えめに食べやすいあんこに仕上げました。昔懐かしくも新しいどら焼きをぜひお楽しみくださいませ。



八天堂ビレッジ 「りんくう桃フェス」開催!

期間 7月8日(木)～8月3日(火)

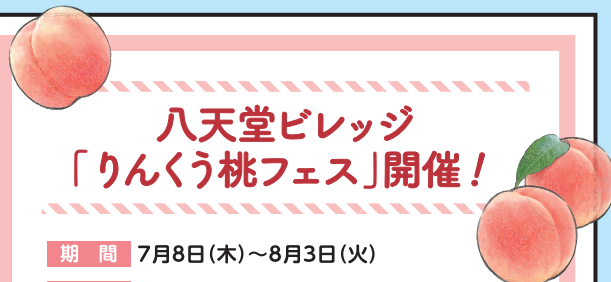
店舗 空の駅オーチャード、八天堂カフェリエ、
天空カフェ&ファクトリー

八天堂ビレッジでは旬の桃を使った桃のフェアを開催します!

空の駅オーチャードは、地元の農家さんから桃を仕入れ、人気のフルーツサンドやパフェ、シェイクなどを販売。八天堂カフェリエでは、桃のパンケーキやドリンク、パン作り体験、桃のくりーむパンもご用意しています。

天空カフェは焼きたてパンやピーチスカッシュで桃を味わえる商品をご提供します。

旬の果物を満喫できるフェアとなっておりますので、是非お越しくださいませ!



Hattendo Information

八天堂アプリ



Instagram



Twitter

